美幌町の地域経済分析について

(地域診断サービス)

2021年6月 日本商工会議所 地域振興部







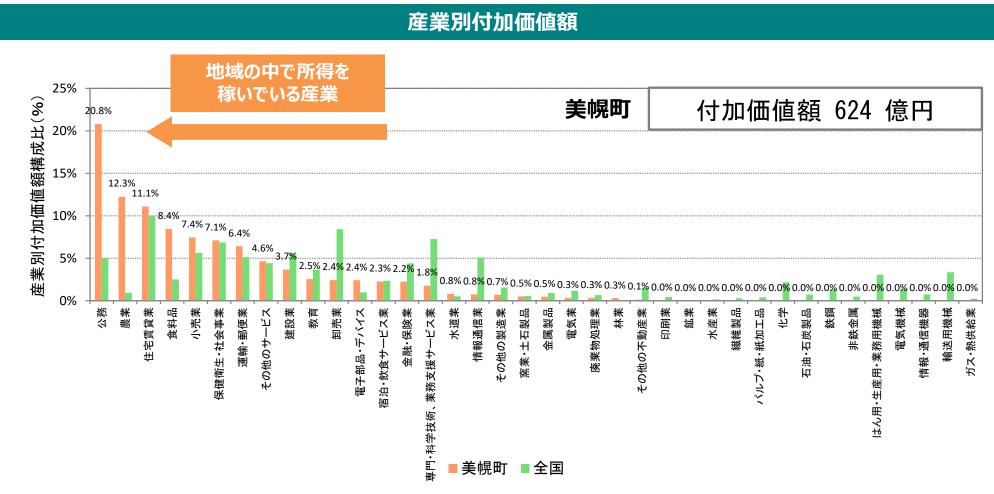
生産分析 ①産業構造

地域で所得(付加価値)を稼いでいる産業は何か



- 付加価値額が大きな産業は、公務、農業、住宅賃貸業、食料品で、これらの産業が地域を支えている。
- 付加価値額のうち、1次産業が12.6%、2次産業が16.3%、3次産業が71.2%を占める。

(全国平均:1次産業:1.1%、2次産業:26.6%、3次産業:72.3%)



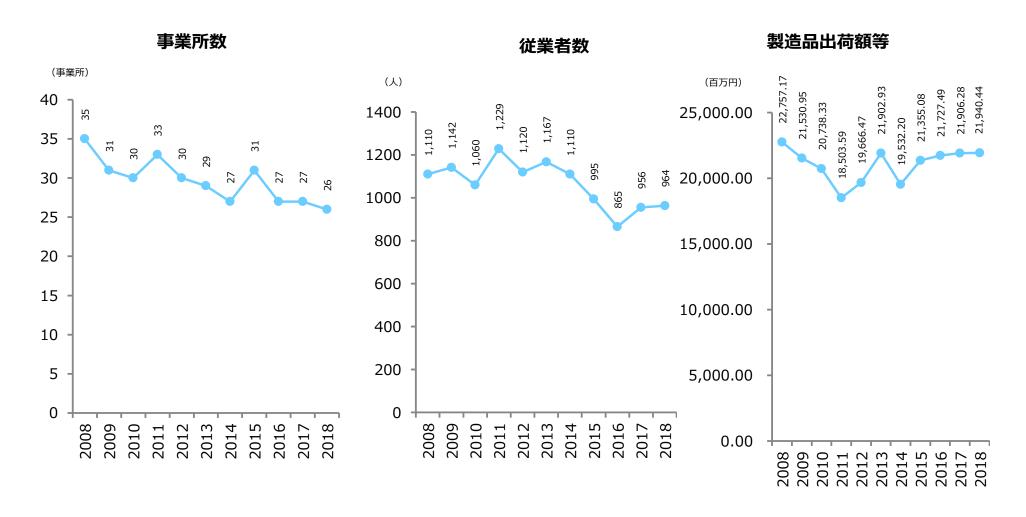
注) GDP統計の不動産業には帰属家賃が含まれており、地域経済循環分析用データの産業分類では第3次産業の住宅賃貸業に帰属家賃が含まれている。帰属家賃は、実際には家賃の受払いを伴わないものである。

出典:環境省「地域経済循環分析用データ」、総務省統計局「国勢調査」 より作成

製造業事業所数・従業者数・製造品出荷額等の推移



- 製造業の事業所数は2011年、2015年に一時的に増加しているものの、全体的には減少傾向。
- 従業者数は2012年まで減少していたが、以降はほぼ横ばい。
- 製造品出荷額は、一時的に上下変動しつつも、全体的にはほぼ横ばいの傾向。

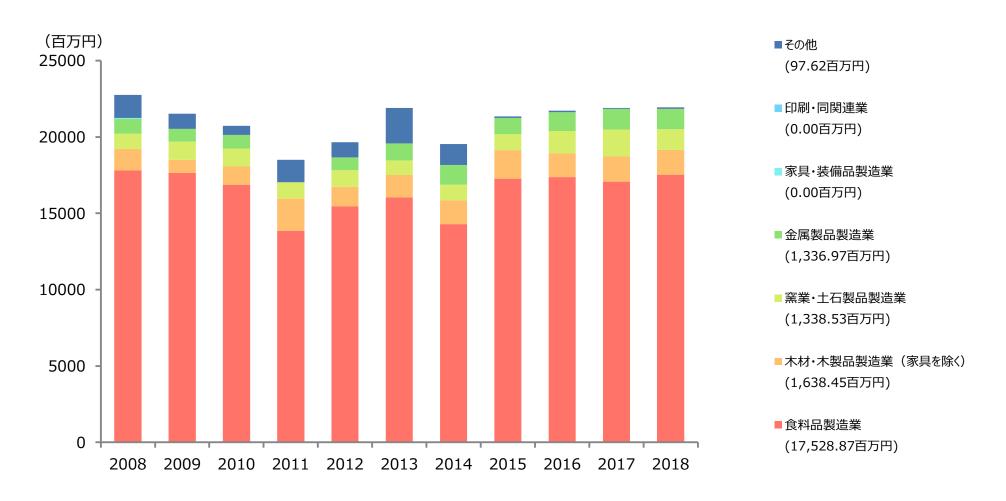


出典: 経済産業省「工業統計調査」再編加工、総務省・経済産業省「経済センサス – 活動調査」再編加工、総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」 留意点: 従業員数4人以上の事業所が対象。 10

産業別製造品出荷額等の変化



- 製造品出荷額の内訳は、食料品製造業が大部分を占める。
- その他の製造業は減少している一方で、窯業・土石製品製造業はやや増加している。



出典: 経済産業省「工業統計調査」再編加工、総務省・経済産業省「経済センサス – 活動調査」再編加工、総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」 留意点:・凡例の数値は最新年の数値を指す。

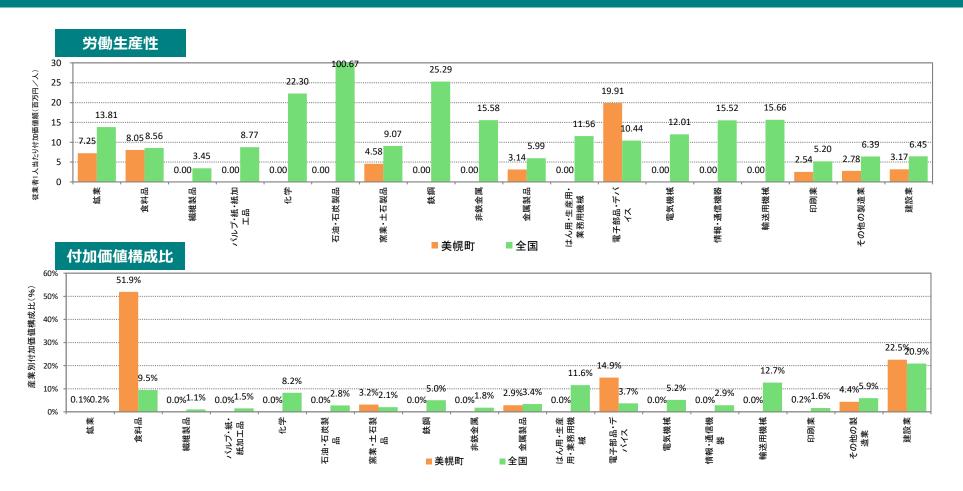
・従業員数4人以上の事業所が対象。

2次産業の稼ぐ力(1人当たり付加価値額)



■ 美幌町では、第2次産業のうち食料品の付加価値構成比が最も高いが、労働生産性は全国よりも低い。次いで建設 業の付加価値構成比が高いが、労働生産性は全国よりも低い。

第2次産業の産業別労働生産性及び付加価値の構成比



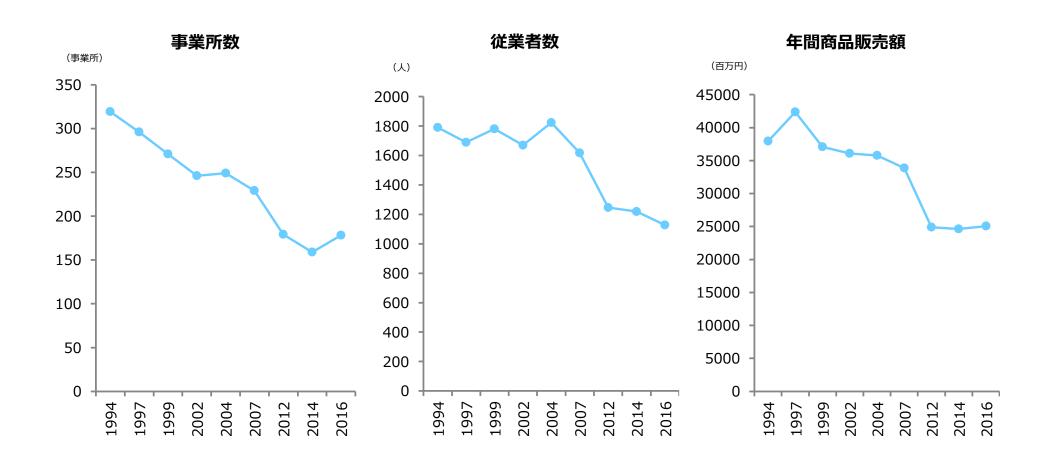
出典:環境省「地域経済循環分析用データ」、総務省統計局「国勢調査」より作成

注)GDP統計の不動産業には帰属家賃が含まれており、地域経済循環分析用データの産業分類では第3次産業の住宅賃貸業に帰属家賃が含まれている。 帰属家賃は、実際には家賃の受払いを伴わないものであるため、これを含む場合と含まない場合の2パターンで労働生産性を作成している。

小売業事業所数・従業者数・年間商品販売額の推移



■ 小売業の事業所数、従業者数、年間商品販売額は減少傾向にあるが、おおよそ2012年に下げ止まった。



出典:経済産業省「商業統計調査」総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」

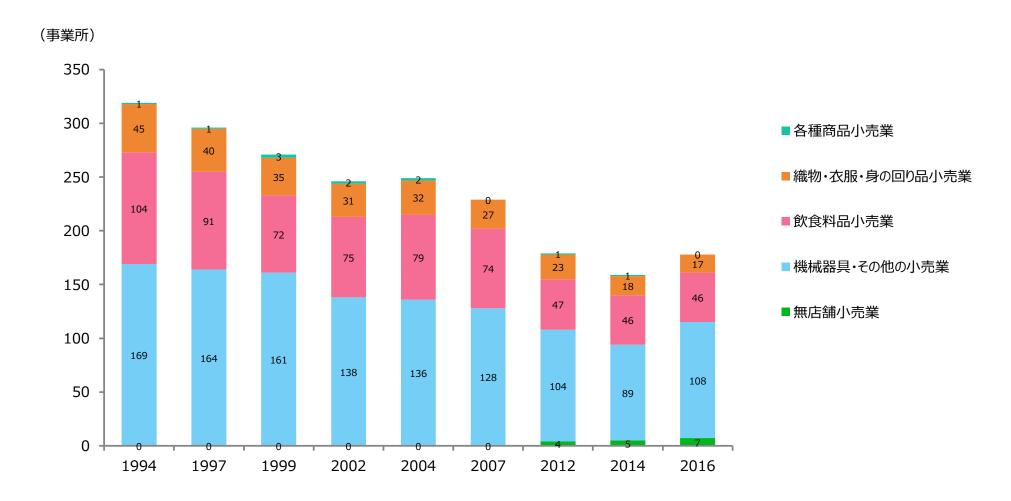
注記: 2007年以降は、日本標準産業分類の大幅改定の影響や、「商業統計調査」と「経済センサス – 活動調査」の集計対象範囲の違い等から、単純に調査年間

(表示年)の比較が行えない。

産業別小売業事業所数の変化



- 小売事業者の内訳は、機械器具・その他小売業が最も多い。
- 1994年→2016年にかけて、最も減少幅が大きいのは、機械器具・その他小売業(▲61社)で、次いで、飲食料品 小売業(▲58社)。



出典:経済産業省「商業統計調査」総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」

注記: 2007年以降は、日本標準産業分類の大幅改定の影響や、「商業統計調査」と「経済センサス-活動調査」の集計対象範囲の違い等から、単純に調査年間 (表示年)の比較が行えない。

3次産業の稼ぐ力(1人当たり付加価値額)



■ 美幌町では、第3次産業のうち公務の付加価値構成比が最も高いが、労働生産性は全国よりも低い。次いで住宅 賃貸業の付加価値構成比が高く、労働生産性も全国より高い。

第3次産業の産業別労働生産性及び付加価値の構成比



出典:環境省「地域経済循環分析用データ」、総務省統計局「国勢調査」より作成

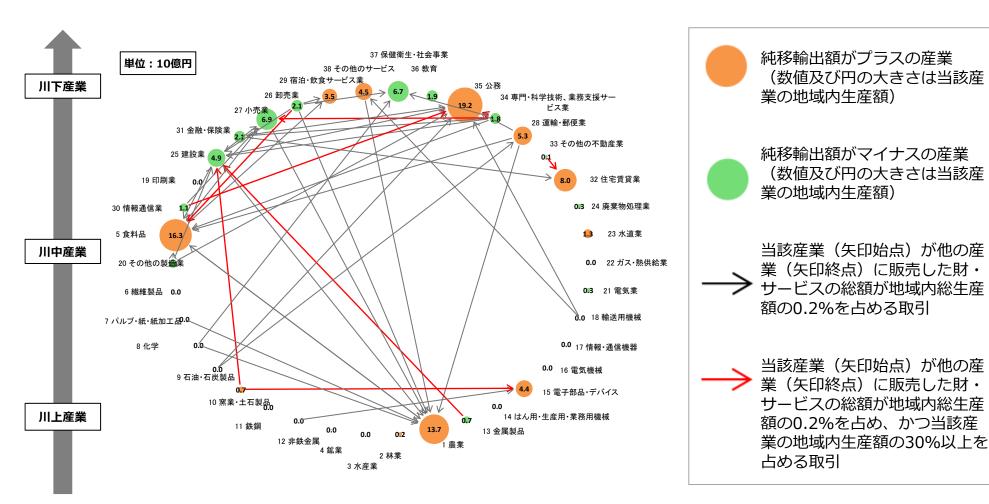
注)GDP統計の不動産業には帰属家賃が含まれており、地域経済循環分析用データの産業分類では第3次産業の住宅賃貸業に帰属家賃が含まれている。 帰属家賃は、実際には家賃の受払いを伴わないものであるため、これを含む場合と含まない場合の2パターンで労働生産性を作成している。

產業間取引構造



■ 地域の産業間取引構造を見ると、公務、食料品、農業などの存在感が大きい。

産業間取引構造



出典:環境省「地域経済循環分析用データ」より作成

注)GDP統計の不動産業には帰属家賃が含まれており、地域経済循環分析用データの産業分類では第3次産業の住宅賃貸業に帰属家賃が含まれている。 帰属家賃は、実際には家賃の受払いを伴わないものであるため、これを含む場合と含まない場合の2パターンで労働生産性を作成している。



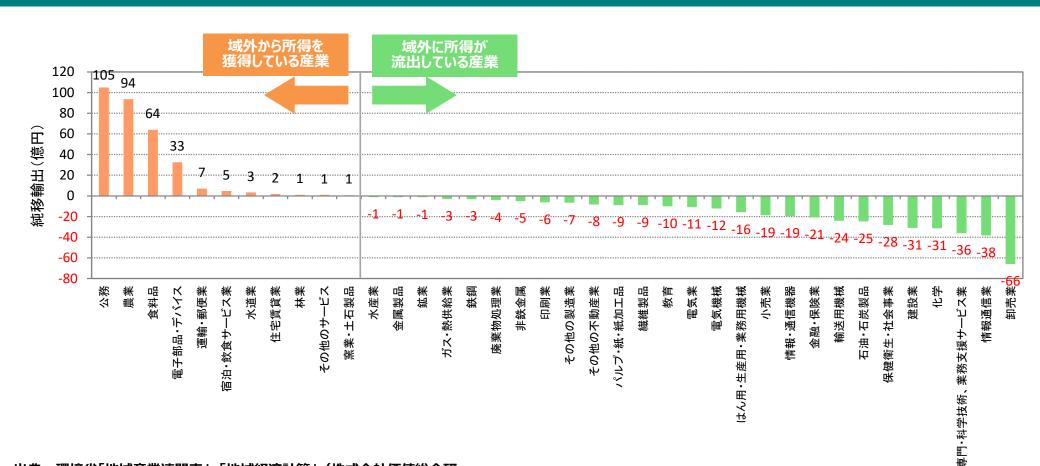
生産分析 ②移輸出入と観光

域外から所得を獲得している産業は何か



■ 域外から所得を獲得している産業は公務、農業、食料品、電子部品・デバイス、運輸・郵便業、宿泊・飲食サービス業 等である。これらは、域内での生産額が大きい産業であり、地域で強みのある産業といえる。





出典:環境省「地域産業連関表」、「地域経済計算」(株式会社価値総合研究系(ロカングの発展に対しています)、展示を表

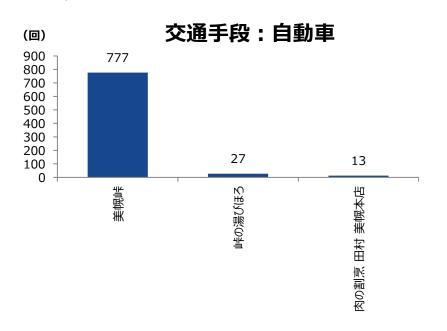
究所(日本政策投資銀行グループ)受託作成)

注)GDP統計上、不動産業(ここでは住宅賃貸業)には、実際には家賃の受払いを伴わない帰属家賃が含まれている。

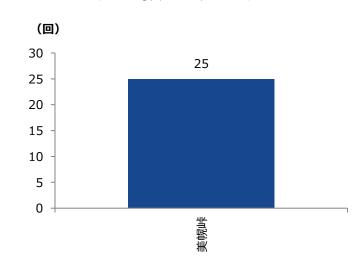
市内の観光地・施設(2019年休日)



■ 地域で検索されている回数が多い観光地・施設は、以下のとおり。

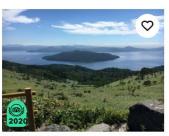


交通手段:公共交通



出典: 株式会社ナビタイムジャパン「経路検索条件データ」 注記: 検索回数は、同一ユーザの重複を除いた月間のユニークユーザ数。

■ トリップアドバイザーにおいて人気・評価が高い観光地・施設は次のとおり。



展望台・タワー

道の駅 ぐるっとパノラマ美幌峠●●●○ 113
名所・有名スポット



美幌みどりの村 ●●●●○ 6 公園



美幌博物館●●●○ 11
自然史博物館、科学博物館



せせらぎ公園 ●●●●○ 6 公園



物産館 ぱっぽ屋 ●●●●○ 10 観光案内所、専門店

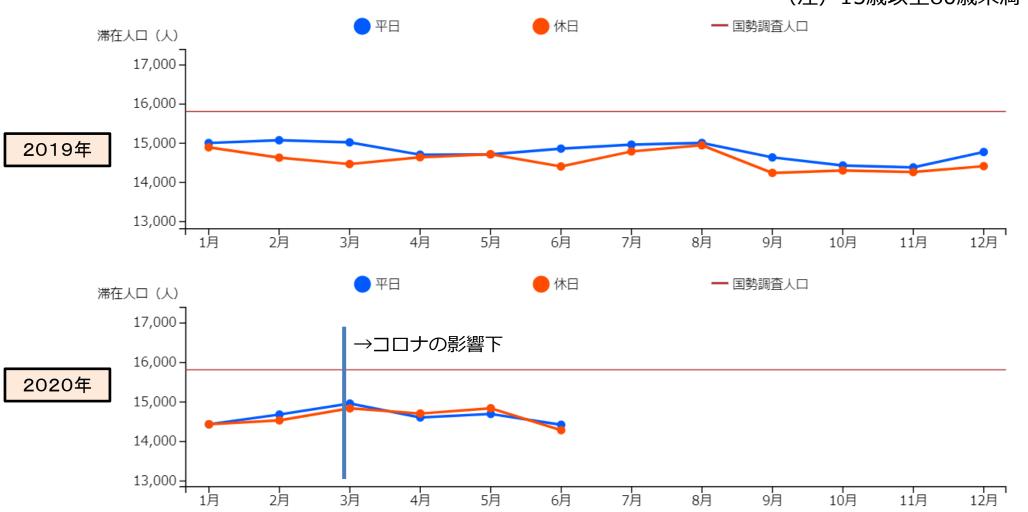
出典: トリツノ アトハイ サー

滞在人口の月別推移(2019年・2020年6月:14時)



- 滞在人口は、平日・休日ともに国勢調査人口を下回っている。平日は通勤・通学、休日は買い物・レジャー等を目的に 地域住民が地域外に流出している。
- コロナの影響下でも、滞在人口の上記動向は変わっていない。

(注) 15歳以上80歳未満



市外から来た滞在人口

滞在人口の地域別構成割合 都道府県 → 市区町村

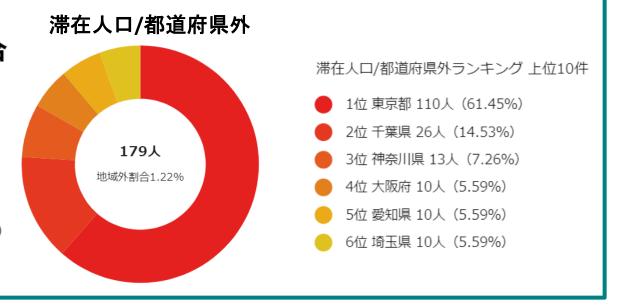
北海道美幌町

2019年5月 休日 14時

総数 総数(15歳以 F80歳未満)

滞在人口合計:14,709人(滞在人口率:0.93倍)

(国勢調査人口:15,814人)



滞在人口/都道府県外

滞在人口の地域別構成割合 都道府県 → 市区町村

北海道美幌町

2020年5月 休日 14時

総数 総数(15歳以上80歳未満)

滞在人口合計:14,818人(滞在人口率:0.94倍)

(国勢調査人口:15,814人)

※道内人口100%。データなし。

21



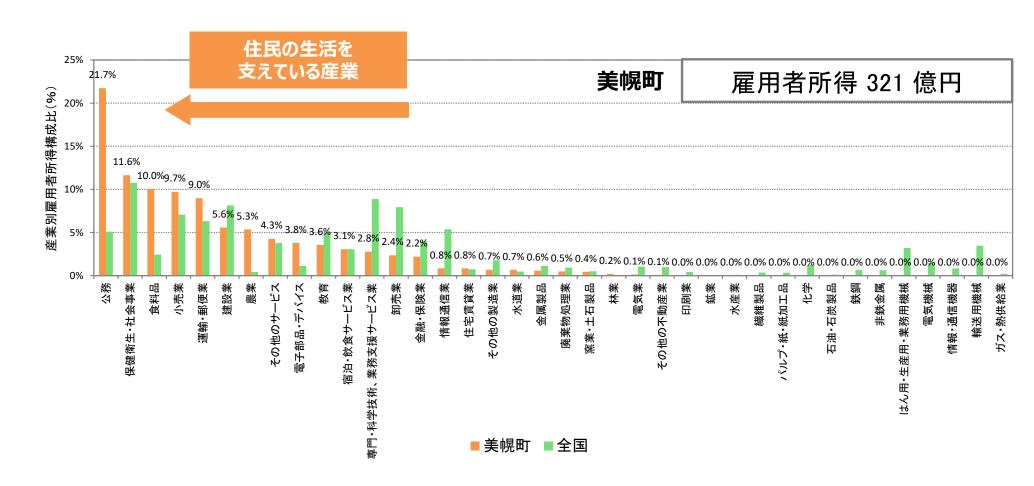
分配·支出分析

雇用者所得を生み出している産業は何か



■ 住民の生活を支える雇用者所得への寄与が大きい産業は、公務、保健衛生・社会事業、食料品、小売業、運輸・郵便業である。





出典:環境省「地域経済循環分析用データ」、総務省統計局「国勢調査」より作成

注)GDP統計の不動産業には帰属家賃が含まれており、地域経済循環分析用データの産業分類では第3次産業の住宅賃貸業に帰属家賃が含まれている。 帰属家賃は、実際には家賃の受払いを伴わないものであるため、これを含む場合と含まない場合の2パターンで労働生産性を作成している。

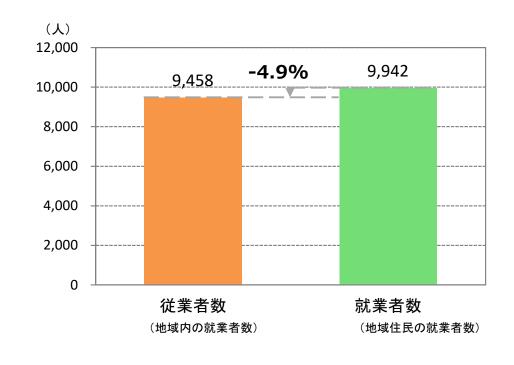
就業者の規模

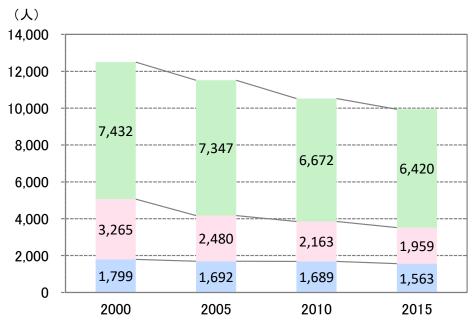


- 従業者数(地域内の仕事の数)が就業者数(働いている住民の数)の▲4.9%で、域内の住民が域外に働きに出 ている傾向。
- 就業者数は全産業で近年減少傾向にある。産業別には第2次産業も第3次産業も減少している。

①就業者数と従業者数(2015年)

②産業別就業者数の推移





■第1次産業 ■第2次産業 ■第3次産業

注)従業者数は、従業地における就業者の数(域外からの通勤者を含む)である。 就業者数は、常住地の住民の就業者の数(域外への通勤者を含む)である。 出所:総務省「国勢調査」より作成

出所:総務省「国勢調査」より作成

通勤通学人口·地域間流動

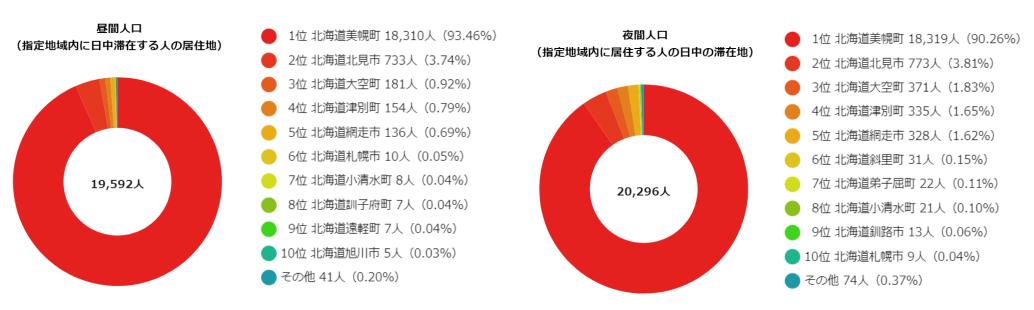


- 夜間人口が昼間人口を上回っており、域内の住民が通勤、通学のために域外に出ている状況。
- 域外から域内への流入元地域は、北見市、大空町、津別町等。
- 域内から域外への流出先地域は、おおよそ上位と同様傾向。

2015年 北海道美幌町

昼間人口:19,592人 夜間人口:20,296人

(昼夜間人口比率:96.53%)



注)昼間人口:就業者または通学者が従業・通学している従業地・通学地による人口であり、従業地・通学地集計の結果を用いて算出された人口。

夜間人口:地域に常住している人口である。

昼夜間人口比率:夜間人口100人当たりの昼間人口の割合であり、100を超えているときは通勤・通学人口の流入超過、100を下回っているときは流出超過を示している。

通勤者:自宅以外の場所で就業する者。

通学者:この画面においては、15歳以上の主に通学(各種学校・専修学校を含む)をしている者。

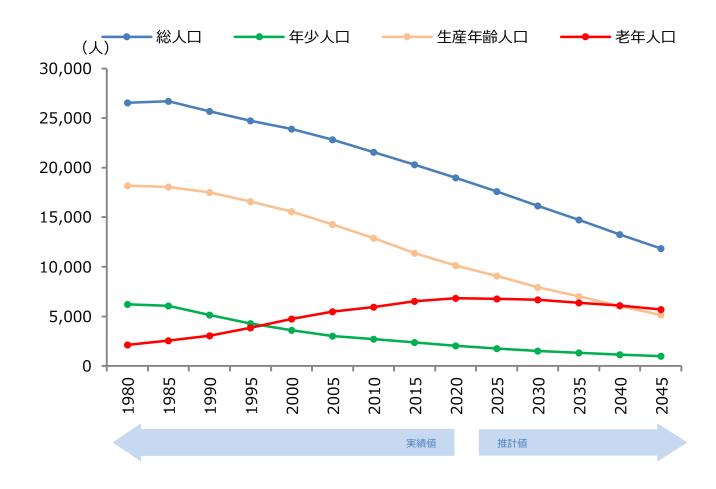
「滞在人口の月別推移」ページで使用している昼間人口等は、出典が株式会社NTTドコモ・株式会社ドコモ・インサイトマーケティング「モバイル空間統計®」であるため、数値が異なる場合がある。

出典:総務省「国勢調査」

市内人口の推移



- 総人口、生産年齢人口、年少人口は減少の一途にある。
- 老年人口は2020年をピークに、その後は緩やかに減少することが見込まれている。



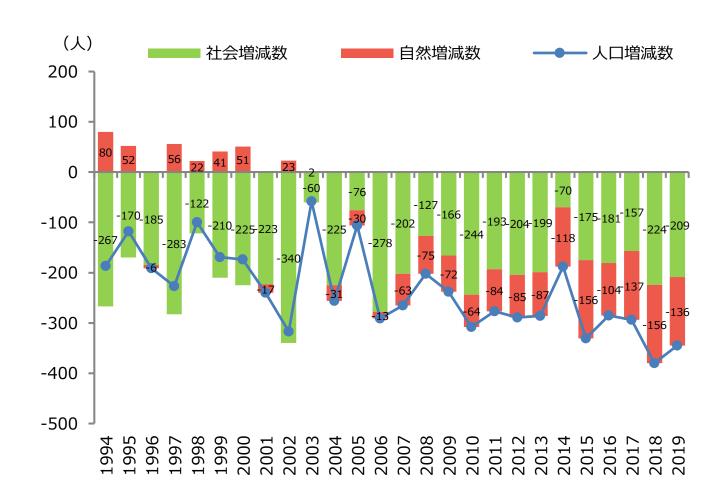
出典:総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

注記: 2020年以降は「国立社会保障・人口問題研究所」のデータ(平成30年3月公表)に基づく推計値。

過去からの人口増減



- 社会増減については、減少の一途をたどっているが、減少幅はやや上下変動する傾向にある。
- 自然増減についても減少の一途をたどり、減少幅は年々拡大してる。



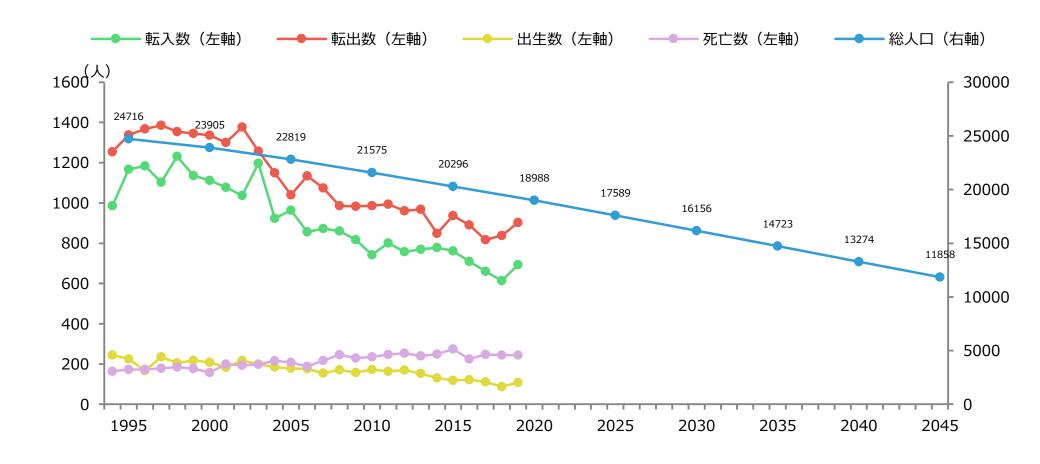
出典:総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」再編加工

注記:2012年までは年度データ、2013年以降は年次データ。2011年までは日本人のみ、2012年以降は外国人を含む数字。

出生数・死亡数/転入数・転出数



- 転出数が転入数を上回っており、変動はおおよそ似た傾向にある。
- 出生数と死亡数は2002年頃までは出生数が死亡数をやや上回っていたが、以降は死亡数が大幅に増加している。

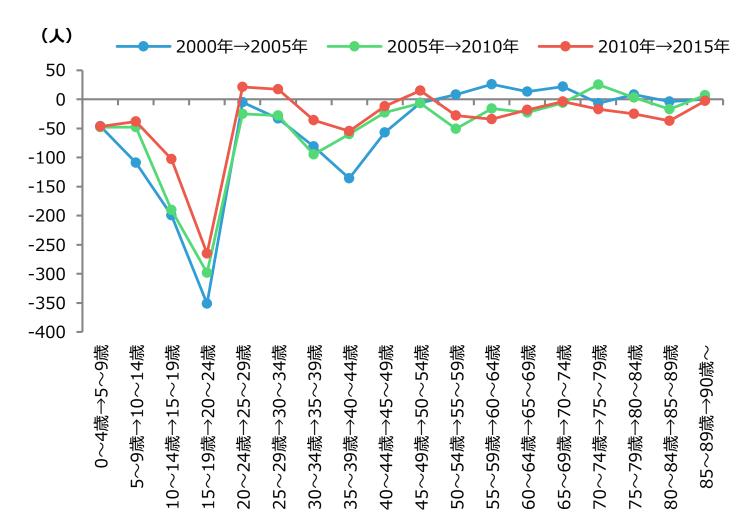


出典:総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」、総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数に関する調査」 注記:2015年までは「国勢調査」のデータに基づく実績値、2020年以降は「国立社会保障・人口問題研究所」のデータ(平成30年3月公表)に基づく推計値。

年齢階級別純移動数の時系列推移



- 進学・就職に係る15~19歳→20~24歳の年齢層が大幅に流出。
- 流入する年齢層は年代によって傾向が変動。2000年→2005年は転職・退職後の50代〜60代の年齢層が流入し、 2010年→2015年は就職・転職等の20代〜30代と、40代が流入した。





地域経済循環と総評

地域経済循環図(2015年)再掲



地域経済循環率

83.3%

地域経済循環図 2015年

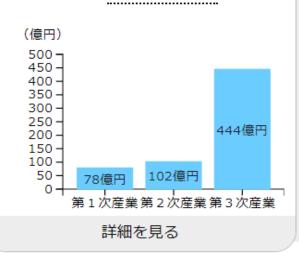
指定地域:北海道美幌町

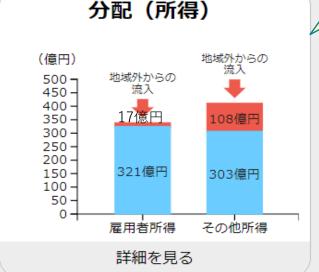
地方交付税交付金 国庫支出金 都道府県支出金 年金

43億円 8億円 7億円 78億円



生産(付加価値額)

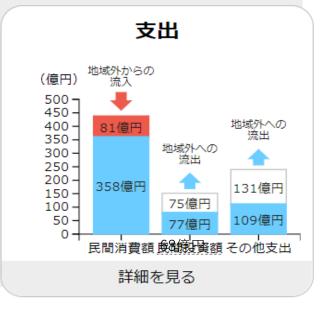




支出による生産への還流 624

域際収支赤字





※RESASでの算出上、所得流出入は域際収支とバランスするという仮定だが、現実の地域経済ではプラス・マイナスが生じうる点に注意。

出典:環境省「地域産業連関表」、「地域経済計算」

(株式会社価値総合研究所(日本政策投資銀行グループ)受託作成)

地域経済循環図(2010年)



所得流入

地域経済循環率

79.6%

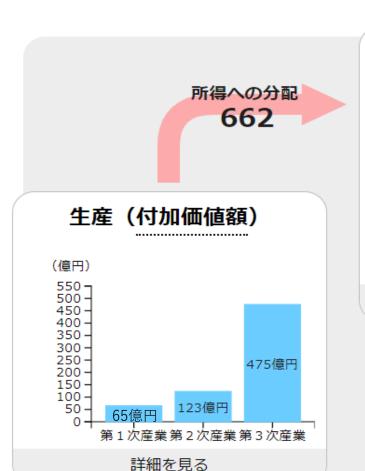
地域経済循環図 2010年

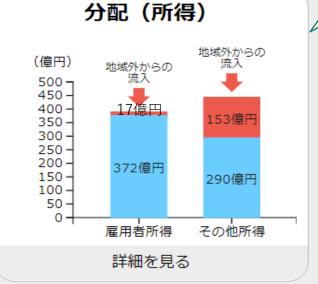
指定地域:北海道美幌町

地方交付税交付金 43億円 国庫支出金 11億円 都道府県支出金 17億円 年金 72億円

所得からの支出

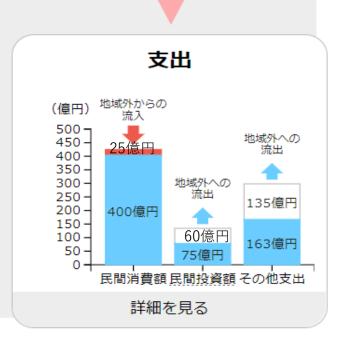
832





支出による生産への還流 662

域際収支赤字



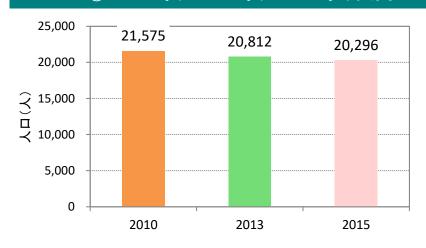
※RESASでの算出上、所得流出入は域際収支とバランスするという仮定だが、現実の地域経済ではプラス・マイナスが生じうる点に注意。

出典:環境省「地域産業連関表」、「地域経済計算」

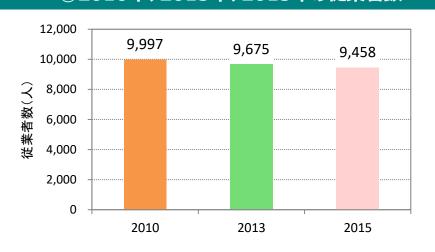
(株式会社価値総合研究所(日本政策投資銀行グループ)受託作成)



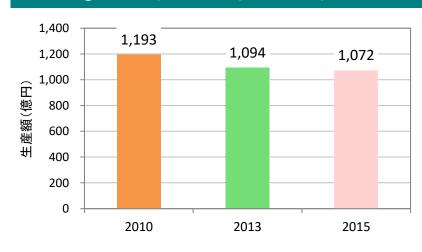
①2010年、2013年、2015年の人口



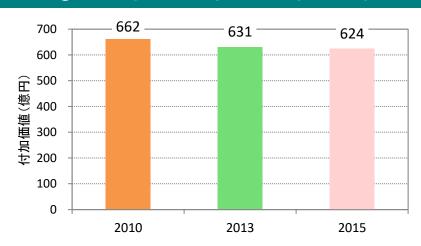
②2010年、2013年、2015年の従業者数



③2010年、2013年、2015年の生産額



④2010年、2013年、2015年の付加価値





生 産

- 自衛隊などにより公務、ビート、小麦、ジャガイモ、タマネギ、豆、ニンジン、キャベツ等により農業、佐 藤製造等により食料品が地域を支える産業である。
- 電子部品・デバイス、運輸・郵便業、宿泊・飲食サービス業も、域外から所得を獲得している。

分 配

- 北見市や大空町、津別町、網走市への就業者が給与を域内に持ち帰ることから、雇用者所得は流 入傾向にある。
- 年金や地方交付税交付金、国・道からの補助金などの財政移転によって、その他所得は流入傾向 にある。

支 出

- 農業や食料品が強く、域外からの消費があるため、民間消費は流入している。
- 企業設備投資である民間投資は地域外に流出している。地域で販売されている商品・サービスは移 輸入に依存しており、その他支出も、域際収支赤字により流出傾向。

総

平

- ① 公務、農業、食料品によって域外から所得が流入するものの、域際赤字によって、地域 に所得がのこりづらい構図となっている。
- ② 地域の特色を生かしつつ、地元住民や、交流人口の消費を喚起する商品・サービスの 開発に、取り組む必要がある。